

令和4年度卒業式

3月4日はまさに卒業にふさわしい春の穏やかな一日となりました。卒業生（理学20名、作業6名、看護37名の合計63名）、卒業生の保護者、及び、教職員による令和4年度の卒業式が挙行されました。

教職員や保護者はマスク着用でしたが、卒業生にはマスクを外しての入場や退場をして頂きました（写真撮影のため）。式では、卒業証書授与、各賞の表彰、校長式辞、卒業生の記念品贈呈等が滞りなく行われ、本校を巣立つ卒業生の門出をお祝い致すことができましたことは、本校として大きな喜びであると感じた次第です。

写真A～Cは、卒業証書授与の際に名前を呼ばれて理学療法学科、作業療法学科、および看護学科の卒業生が起立している様子を写したものです。

写真D～Fは3学科代表者が卒業証書授与される瞬間を撮影したものです。写真Gは、理事長から優秀賞などの表彰を受けるため壇上に上がった受賞者を撮影したものです。合計6種の表彰は、本校あるいは各種団体からそれぞれ賞の該当者に授与されましたが、式ではサプライズ的な表彰として渡されました。そのため、表彰後に学生ホールにて受賞者名が掲示されました（写真J）。

また、写真Hは、卒業生の皆さんから心暖まる記念品を学校に贈呈（目録）して頂いた時の一枚です。

式終了後、卒業生は学科ごとに別室に移動し、そこで、最後のホームルーム（学科教員と卒業生のお別れの会）がなされました。各教員からは困難な時期の3年間あるいは4年間で頑張ってきた卒業生へ「餞の言葉」が贈られ、卒業生からは様々な思いや感謝の意を込めたプレゼントが各教員に手渡されました。

写真Kに理学療法学科の、写真Iに作業療法学科の、そして、写真Lに看護学科のホームルームの様子が映し出されています。学科によっては保護者も参加し、素晴らしい一時を共有して頂きました。

卒業式やホームルームの終了後、学生ホールや玄関などで思い思いに記念撮影する学生や保護者にあふれ、にこやかな笑顔や笑声が心地よく感じられました。写真Mは、学生ホールに1年間の思い出でのスナップ写真を張り出したものであり、写真Nは、市長や医大大学長など様々な関係団体から頂戴した祝電・祝辞です。

本来ならば、来賓や在校生の卒業式参加があり、学校主催のパーティーや卒業生主催の謝恩会などが続きます。まだまだコロナ禍の影響が懸念される状況下でしたので、これらの行事は全て省略となりました。心弾む爽やかな瞬間ではありましたが、一方では、名残り惜しそうに感じる瞬間でもあったためでしょうか、あちらこちらでいつまでも話が続くような状況であり、卒業生、保護者、そして、見送る教員の姿が微笑ましくもとても印象的でした。

最後になりますが、卒業生の新たな旅たちに際し、私たち教職員は、卒業生全員のご健勝とご活躍を心から祈念致すとともに、入学から卒業まで何かとお世話になった保護者の方々のご多幸を願ってやみません。

